

北九州市観光振興プランの策定について

1 現行プランの概要及び達成状況

(1) 概要

本市の観光振興の方向性を示すため、平成26年5月に計画期間を6年間（平成26年度～令和元年度）として策定。（新型コロナウイルス感染症の観光への影響について見通しが立たないため、現行プランを延長中。）

このプランは、本市の基本構想・基本計画である「元気発進！北九州」プランの観光分野についての分野別計画として位置づけられている。

(2) 達成状況

当初の計画期間終了年度である令和元年度末時点では、観光地としての知名度を図る指標の「観光地度」を除き、おおむね目標を達成した。

	目標値	実績（令和元年末）	評価（達成度）
延べ観光客数	2,460万人	2,420.8万人	○（98%）
宿泊客数	130万人	192.9万人	◎（148%）
観光消費額	976億円	1,345.4億円	◎（138%）
観光地度	45%	23.8%	△（53%）

※「観光地度」とは、政令指定都市及び九州主要都市（27都市）について観光地として認識しているかを尋ね、それを数値化したもの。

2 次期プランの策定について

(1) 策定目的

これまでの取組成果や本市観光を取り巻く情勢の変化などを踏まえ、コロナ収束後の観光振興の方向性を示すとともに、宿泊税の使途の指針を示す。

(2) 計画期間

令和5年4月から5年間 ※計画終期は外部委員による検討会議で決定

(3) 基本方向（案）

新型コロナウイルス感染症拡大により変化した観光形態などを踏まえつつ、北九州ならではの（食を含む）文化、歴史、夜景、修学旅行などを柱とした施策について検討会議で議論していく。

また、リーディングプロジェクトとして地区別アクションプラン（門司港レトロ・和布刈、小倉都心部、皿倉・東田の3地区）を策定する。

(4) 策定方法

関係者へのヒアリングにクリエイティブディレクター等による助言、学識経験者や専門家等の外部有識者で構成する検討会での意見聴取を経て素案を作成。パブリックコメントを行った上で成案を策定する。

(5) スケジュール（案）

令和4年7月 本市観光についての市政モニターアンケート
12月 素案作成、パブリックコメント
令和5年3月 成案策定、公表